

### 医療法人玉昌会 高田病院 加治木温泉病院



高田病院（上）（鹿児島市）と加治木温泉病院（始良市）

#### <主な業務内容>

内科（人工透析含む）・消化器科・  
泌尿器科・耳鼻咽喉科・リハビリ  
テーション科・歯科

#### <EA21 登録日>

2013年8月



病院入り口にある足湯前にて

左から 吉永統括部長、環境管理責任者の飯伏部長、  
環境管理担当者の西様

今回お邪魔したのは、鹿児島県で医療法人として初めての、[エコアクション 21 登録事業所](#)である医療法人玉昌会 加治木温泉病院です。

人工透析とリハビリテーションをメインに運営しており、理学療法士・作業療法士の人数からも、力を入れていることがよくわかります。

「日本格付研究所（JCR）」「財団法人医療機能評価機構」「一般財団法人 日本慢性期医療協会（高田病院のみ）」から認定を受けており、外部からの評価も高いことがわかります。

#### 環境経営への取り組み

お伺いした時、看護師さんをはじめ、職員の方々が忙しく動き回っていました。それでも、私共とすれ違う時は、みなさん笑顔で挨拶を返してください、職場環境の良さを感じました。また、開業からそのままの建物と感じさせない程、とても明るく「清潔感のある病院」というのが、第一印象でした。

「病院の建物は、出来るだけ長く大切に使うことを心がけていますよ。」と飯伏部長。エコアクション 21 登録こそ今年ですが、エコは長年実践されてきているようです。

以前から、社会的貢献・地域貢献には努めていましたが、環境に積極的に取り組む企業・病院は、環境



マネジメントシステムの認定も受けていることを知り、鹿児島県から環境アドバイザーを講師に招き、研修会を実施し、スタートされたそうです。

「今年の夏の猛暑でエアコンの消費電力はとても大きかった。しかし、患者さんのためには、大切なこと。患者様の命が第一優先ですから、矛盾を感じながら電力の増加は否めませんでした。」とお話する表情から、少し複雑な心境で取り組まれたことを強く感じました。

また、衛生上、グローブやエプロンの使用が必須ですが、病院内の空調温度と湿度を一定に保つことで感染のまん延を防ぎ、結果消耗品を減らすことにつながっているようです。

## 地域との繋がりの大切さ

鹿児島市内にある「高田病院」も環境経営に取り組んでいます。離島便の発着所が近くという利便性から、離島の方々の人間ドッグの受け入れが多いとのこと。『加治木温泉病院』は夜間透析も実施しており、湧水町など遠方からの患者様もあるそうです。また、溝辺空港が近いこともあり、鹿児島県では数少ない、パイロットの「航空身体検査」の実施も受け入れています。

「地域を大事にしない企業は伸びません。まずは、地域の声を聴くこと。そして病院と共に色々な活動が展開していくことを願っています。『病院様』という考えでは、地域と密着した医療は決して実現しませんから。」と、笑顔の中にも、説得力のある強い信念を感じました。

システム的な環境経営を通して、更に地域との繋がりを深めて欲しいと願います。

## これからの課題

環境経営をスタートしてまだ一年であり、職員や患者様に、環境意識や取り組みを浸透していくことが課題とのこと。

「自宅の水道水は、節水のために、少しずつしか水が出ないようにしている。奥様のエコへの取組のひとつ。女性のほうが良いアイデアが生まれるのでは？」と、今後の環境経営への取組みで、女性職員の方に期待を寄せているようでした。

これから少しずつ環境意識や取り組みが浸透し、病院全体が自然にまた楽しく、環境経営活動に取り組む雰囲気になればと思います。

今回も、貴重なお時間に取材へのご協力いただき、本当にありがとうございました。

